EA121BD（[下カップ付] スプレーガン）取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

⚠◆警　告

1. 発火や爆発の危険
   - ● 溶剤は燃えやすい性質があります。
     可燃性ガスがたまらないよう、十分換気を行なってください。
     作業場所には、タバコや点火バーナー･溶接機など着火原因となるものは
     置かないでください。
   - ● ハロゲン化炭化水素溶剤は決して使わないでください。
     塩化メチレンなどのハロゲン化水素溶剤は、アルミニウム・亜鉛部品と化学反応を起こす
     危険があり、爆発する恐れがあります。使用可能か否か確認してください。
   - ● 静電気のスパークによる危険を防止するために、アースを行なってください。

2. 誤使用の危険
   - ● 人体にノズルの先を向けないでください。
   - ● 最大使用圧力を超えての使用は絶対行なわないでください。
   - ● 非常事態防止のため、分解、補修、清掃の前に空気やペンキの圧力は抜いてください。
     空気供給を止めるため、スプレーガンの近くにボールバルブを設置することをお薦めします。

3. 溶剤が霧状になり、噴霧されたときの危険
   - ● 溶剤によっては、健康被害を引き起こす有毒ガスを発生します。
     充分換気された場所で作業を行なってください。
   - ● 作業時にはペイント用マスク・保護めがね・手袋・防護服を着用してください。
     必要があれば、耳栓も着けてください。

4. その他の危険
   - ● 製品の改造は決して行なわないでください。
   - ● 異常が発生した場合は、直ちにその原因を調べてください。
     その原因が解決されるまで、絶対に使わないでください。

◆仕　様

- ●使用圧力…0.2～0.35MPa
- ●吐　出　量…147ℓ/min
- ●ノズル径・・・1.3mm
- ●取付ネジ…G1/4”
- ●カップ容量…700mℓ
- ●所要コンプレッサー…1.5kw

◆各部の名称

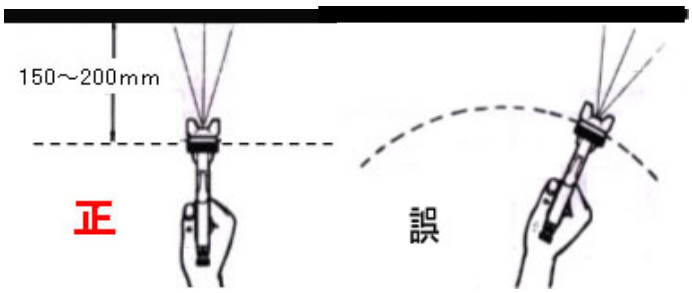
◆はじめに

- ● この製品は熟練したオペレーターが取扱うようにしてください。
- ● 輸送中に破損していないか確認してください。
- ● きれいな、乾燥した空気をガンに供給する必要があります。
- ● 購入後初めて使うとき、流体ニードルパッキングを調整してください。、
  流体パッキングをゆっくり締めます。スムーズに回転しないときは、流体ニードルを少し緩め、
  スムーズに動くよう流体ニードルを調整してください。

① エアーホースをエアーホース取付口にしっかり接続します。
② ペイントカップを取付口にしっかり接続します。
③ 適合した溶剤でガンの塗料経路を洗います。
④ ペンキをカップに入れ、スプレーテストし、パターン幅やペンキの噴霧状態を調整します。

◆使用方法

●使用圧力は0.2～0.35MPaです。
●流体出力はできるだけ小さくしておいてください。
●塗装距離は150～200mmの間で、
できるだけ近い距離で使用ください。
●スプレーガンを吹き付ける面に対し、
垂直に構え水平に動かしてください。



◆メンテナンス

◆ 警　告

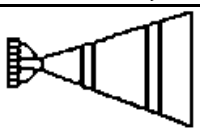
●分解・清掃・点検整備の前に、スプレーガンの引き金を引き、ペンキと中の空気を抜いてください。
●分解するとき、スプレーガンの部品で怪我をしないよう注意して行なってください。
●十分な知識と教育を受けていない方は分解しないでください。

1. 残りのペンキを他の容器に移し替えた後、塗料経路とエアーキャップをきれいにするために、
少量のシンナーを噴きつけてください。
不十分な手入れは、つまりの原因となります。使用後は必ずきれいにしてください。
2. 付属のブラシかシンナーを染込ませた布で拭いてください。
3. 分解の前に塗料経路を掃除してください。リングスパナやボックスレンチでノズルを取外してください。
4. 流体ニードルを取外し、ノズルを取外します。
5. 流体ノズルを挿入し、はじめは手で閉めて、その後スパナで徐々に締めます。
トリガーガンを引きながら、パッキングを調整します。
締め過ぎは流体ニードルの動きを遅くし、ノズルから漏れを生じます。
締め過ぎたときは漏れが止まるまで反時計回りに回してください。
6. スプレー調整ネジを完全に開くまで、反時計回りに回してください。
スプレーガンにしっかり閉めつけてください。

◆注　意

●オリジナルパーツ以外の部品を取付けないでください。
●スプレーガン本体をシンナーなどの溶剤につけないでください。
●エアーキャップ、ノズル、ニードルの穴に金属棒などを突っ込まないでください。

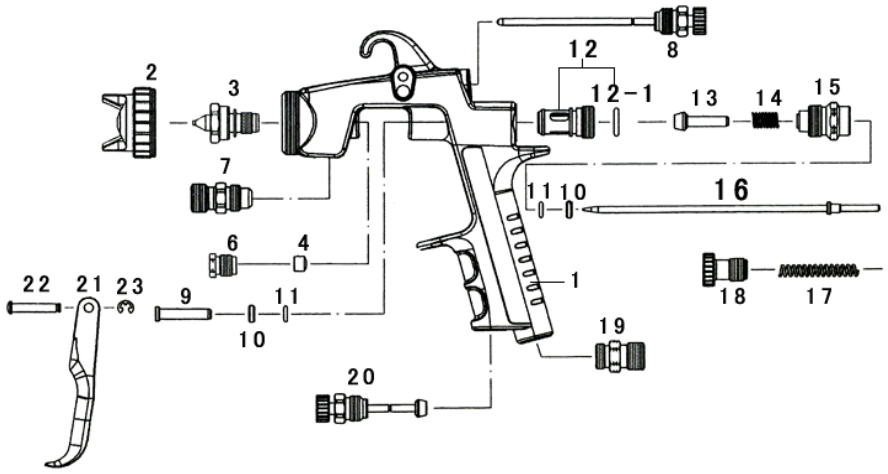
◆トラブルシューティング

スプレーパターン	症　　状	直　し　方
 空気の漏れ	1.ノズルの間から空気が入り、ガン本体に流れ込んでいる 2.流体ニードルのパッキングが磨耗している	1.ノズルを取外し、清掃して取り付ける ノズルが損傷していたら取替える 2.パッキングを取替える
半月型に塗布される	1.エアーキャップの穴が固着したペンキで部分的にふさがれている 両方の穴から出る気圧が異なっている	1.固まったペンキを取除いてください 穴の清掃に金属製の棒などは使わないでください
薄らぐ	1.固着したペンキがノズルの穴かエアーキャップを部分的に詰まらせるか、損傷を与えています 2.ノズルが緩んでいる	1.固まったペンキを取除いてください もし損傷があれば、取替えてください 2.ノズルを取外し、清掃して取付けます
中央が狭くなる	1.ペンキの粘性が低すぎる 2.空気圧が高すぎる	1.粘性を高めるため、ペンキを加えてください 2.ｽﾌﾟﾚｰ調整ネジかペイント流量調整ネジを調整してください
中央が厚くなる	1.ペンキの粘度が高すぎる 2.空気圧が低すぎる	1.ペンキを薄めてください 2.ｽﾌﾟﾚｰ調整ネジかペイント流量調整ネジを調整してください
分岐する	1.ノズルとニードルがきちんとはまっていない 2.空気が放出するときだけトリガーのファーストステージトラベルが磨耗 3.エアーキャップ内にペンキが溜まっている	1ﾉｽﾞﾙとﾆｰﾄﾞﾙを清掃するか取替えください 2.ﾉｽﾞﾙがﾆｰﾄﾞﾙを取替えてください 3.エアーキャップを清掃してください

◆ 問題点と直し方

問題点				直し方			
状況	場所	確認箇所	症状	締め直す	調整	清掃	交換
エアー漏れ(フロントエンドから漏れる)	エアーバルブ	ｴｱｰﾊﾞﾙﾌﾞ	不純物が付着または破損			○	○
		ｴｱｰﾊﾞﾙﾌﾞｼｰﾄ	不純物が付着または破損			○	○
			ｴｱｰﾊﾞﾙﾌﾞのﾊﾞﾈが磨耗				○
		Oリング	品質劣化または損傷している				○
塗料の漏れ	ノズル	ノズル～ニードル	不純物・破損、磨耗			○	○
			ﾍﾟｲﾝﾄ流量調整ネジの緩み		○		
			ﾆｰﾄﾞﾙｽﾌﾟﾘﾝｸﾞの磨耗				○
		ノズル～本体	据付が不十分	○			
			不純物が付着または破損			○	○
		ニードル～パッキング	ﾊﾟｯｷﾝｸﾞがきつく締まっているためニードルが戻らない		○		○
			ﾆｰﾄﾞﾙにペンキが付着しﾆｰﾄﾞﾙが戻らない		○	○	
	ニードル	ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟｯｷﾝｸﾞ～ﾆｰﾄﾞﾙ	磨耗	○			○
		パッキング	締め付けが不十分	○			
塗料が出ない	スプレーガンの前面	ﾍﾟｲﾝﾄ流量調整ﾈｼﾞ	開きが不十分		○		
		ﾉｽﾞﾙの穴	詰まる			○	
		ﾍﾟｲﾝﾄﾌｨﾙﾀｰ	詰まる			○	○

◆部品図



1. 本体
2. エアーキャップ
3. 流体ノズル
4. ニードルパッキング
6. ニードルパッキングシート
7. 流体ジョイント
8. スプレー調整バルブ
9. エアーバルブシャフト
10. ワッシャー
11. Oーリング
12. エアーバルブシートセット
12-1. Oーリング
13. エアーバルブシートセット
14. エアーバルブスプリング
15. ペイント流量調整
16. 流体ニードル
17. ニードルスプリング
18. ペイント流量調整ネジ
19. エアーホース取付口
20. エアー調整ネジ
21. トリガー取付ピン
22. トリガー
23. E-リング

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－14
TEL (06)6532-6226　FAX (06)6541-0929